

事業計画書

1. 事業の概要

事業の名称	大河原中学校屋内運動場増改築事業
事業の内容	<p>【概要】現在の大河原中学校屋内運動場を同一敷地内に建替(新築)する。</p> <p>建物構造：鉄骨造一部2階建て</p> <p>延床面積：1,800 m²程度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の施策である国土強靱化事業を利用し、令和4年度までに整備する。 ・整備期間が決まっていることから、既存の屋内運動場を利用しながら、建て替え計画を遂行する必要がある。 <p>【上位計画との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6次長期総合計画 前期基本計画 ・大河原町教育振興基本計画 ・公共施設等総合管理計画 ・国土強靱化事業(文科省補助事業 危険改築事業)
事業の目的	<p>屋内運動場を増改築することにより、現在の学校教育の問題点及び施設の安全面を改善し、将来の学校教育に適した施設とする。</p> <p>また、災害時の避難所施設であることから、防災機能を有した施設として、安全で安心できる学校施設を整備する。</p>
事業計画の背景	<p>【背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和39年に建設した現屋内運動場は、経年劣化が著しく、建設経過年数は55年である。 ・既存床面積は、1,156 m²であるが、現基準による必要面積は、1,511 m²必要とされ、その他大規模校としての、必要な付帯施設等を併せて整備すると、延床面積1,800 m²以上の体育館を建築する必要がある。 ・現体育館には、トイレ及び水飲み場がなく、施設利用には不便さを感じる。また、バリアフリー法など、現行法規に適合しない部分もあり改善する必要がある。 ・避難可能な公共施設とするため、誰もが使いやすい施設に改善する必要がある。 <p>【期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行基準の屋内運動場として、スムーズな学校運営(体育の時数の確保など)が期待できる。 ・防災機能を有する施設となることから、地域住民の防災拠点として、安全で安心できる施設となる。 ・地域住民の体育施設として、町民の健康増進も期待できる。

これまでの取組状況	<p>H31年2月 政策企画会議にて協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の改修事業に対する国の「防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」適用についての検討 <p>H31年3月 3月議会全員協議会にて議員へ説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化事業概要、将来スケジュール等について説明 <p>H31年3月 第6次大河原町長期総合計画に計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の長寿命化・改築の推進として明記 <p>「特に、大河原中学校体育館は、築50年以上経過していることから、給食センターの新築移転後に、建て替え計画を進めます。」</p> <p>R元年6月 R2年度事業開始に向けた、国への計画要望を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業採択に向けた計画の提出 <p>R元年8月 大河原町大河原中学校屋内運動場耐力度調査完了、将来計画策定業務完了</p> <p>R2年1月 危険改築として宮城県と内容確認を行い了承済み（補助事業採択要件）</p>
今後のスケジュール	<p>① 建替えに伴う調査検討 ～R2年3月</p> <p>② 基本設計、実施設計 R2年5月～R2年12月 (検討委員会、計画説明会含む)</p> <p>③ 建設工事・工事監理 R3年1月～R4年3月</p> <p>④ 供用開始予定 R4年4月</p> <p>⑤ 既存体育館解体工事 R4年5月～R5年3月</p> <p>⑥ 屋外環境整備（駐車場等整備）R5年4月～R6年3月</p>

2. 事業内容

用地関係	予定地	大河原町字東1番地（大河原中学校敷地内）
	用地確保の状況	用地の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 済・未 <input checked="" type="checkbox"/> 町有地・民有地買上・その他（ ）
	敷地面積	5,000 m ²
	規制の状況	規制区域 都市計画区域 未線引き区域 用途 第一種中高層住居地域 建ぺい率 60% 容積率 150% その他 下水道処理区域
建設関係	事業規模	≪事業面積≫ 鉄骨造 延床面積 1,800 m ² 程度 渡り廊下、備蓄倉庫、太陽光発電設備 ≪主要施設≫ 中学校屋内運動場

工事関係	事業規模	≪延長、面積、構造等≫ ・外構工事（駐車場整備等 3,000 m ² ） ・解体工事（1,200 m ² ）
------	------	--

3. 事業費

建設費又は工事費 A	調査費・設計費（R2年） （地質調査、基本設計、実施設計） 建設費（R2年～R3年） （体育館建設工事、備蓄倉庫・太陽光発電設置工事、 工事管理費） 既存施設解体費（R4年～R5年） 外構工事費（R5年～R6年） その他（備品等）	45,000 千円 671,225 千円 26,588 千円 16,800 千円 2,500 千円
	合 計 【財源内訳】 国庫補助金額（危険改築事業 1/3、増築事業 1/2） 学校施設整備事業債（補助対象 100%、交付税 50%） 一般財源（補助対象外分）	762,113 千円 135,258 千円 607,555 千円 19,300 千円
運営管理費 B	1年間の維持管理費の累計（一般財源） ・人的経費 無し ・修繕、補修関係経費 100 千円 ・運営、管理経費 300 千円 ・光熱水費 600 千円	合 計 1,000 千円
合計 A+B		763,113 千円